

たくしんNEWS

若水(わかみじ)号

2025年(令和7年)1月号 vol.291



拓伸会 [拓南グループ]

拓南本社株式会社
拓南製鐵株式会社
拓南商事株式会社
拓南製作所株式会社
株式会社西原グリーンセンター

拓伸商事株式会社(大阪)
拓伸商事株式会社(福岡)
株式会社薩南物産
拓鐵事業協同組合

INDEX 4 TOPICS

「鉄の記念日」祭事式／5年ぶり拓南友の会／全国産業衛生大会イン広島／ひやみかち なはウォークに参加／
本社と製作所が献血活動 etc.

8 改善活動成果発表大会
「最優秀賞」ダイジェストく下

10 【新春特集】「年男・年女」
12 連載「拓南余話」◎

拓伸会会報(隔月発行) 拓南本社内『たくしんNEWS』編集委員会
〒900-0025 沖縄県那覇市豊川3の2の4 [拓南ビル3F] TEL.098-831-8228 FAX.098-832-0586

【若水】元旦未明に初めて汲む水。仏壇に供えてから飲む。『沖縄語辞典』(研究社)より



中部事業所に屋外展示されている初代電気炉(1961年稼働)を背景に

令和7年 新年あいさつ

ガバナンスの徹底強化で 強い体質づくりを

拓伸会 会長 古波津 昇

拓南本社株式会社
代表取締役社長

代表取締役社長

あけましておめでとうございま
す。

昨年の世界情勢は、なかなか収
まらない世界各地での紛争、そし
て米国の政権交代(実際には今年)
など大きく揺れ動いており、日本
国内でも選挙にSNSが大きく影
響を与えるようになりました。

経済においても、国内外問わず、
三次産業やIT業界が占める割合
がさらに高くなり、一次・二次産
業の人手不足に拍車がかかってい
ます。あまり目立っていないよう
ですが、廃業や倒産も増加してい
るようです。

特に鉄鋼業界は需要の伸び悩みに
加え、中国が、経済減衰にもか
かわらず過剰生産を行ったこと
によるマーケット低迷など厳しい状
況下にあります。沖縄県内でも需
要低迷は変わらず、鉄筋についても
ダンピング材が横行しています。

拓伸会としては、各社が203
0年に確実な達成する目標を掲
げ、SDGs宣言を行います。そ
して、これまで推進してきた健康
経営、働きやすい職場づくりの確
立などを礎に安全衛生管理、商品
やサービスの品質向上、そして社
会に対し、拓伸会で行うことがで
きるあらゆる活動の強化に注力し
ます。

拓南本社としても、拓伸会の皆
様に対し細部に手が届く対応をし
つかりと行い、各社間のガバナン
スが強化徹底できるよう努めてま
いりますので、皆様の御協力をお
願ひします。

新年あいさつ サーキュラーエコノミーを率先

拓南製鐵株式会社
代表取締役社長

代表取締役社長



八木 実

あけましておめでとうござい
ます。

拓伸会の皆様におかれまして
は、新年がより良い年になります
ようにと期待と希望に満ちた思
いで、ご家族とともに新春をお迎
えのこととお慶び申し上げます。

昨年の夏は全国的に異常な猛暑
で環境の変化を体感し、多くのこ
とで、世の中のためぐるしい変化
を実感されたことも多かったと思
います。

私どもの主要需要家である建築
土木業界は、時間外労働の上限規
制、各種の人手不足、資材高騰で、
計画の規模縮小や着工遅れなどが
起き、国内需要は低調となつてま
す。また、中国経済の低成長によ
る影響で国内外の市場と市況は不
透明な状態になり、厳しい1年で
もありました。

《1頁よ》

そのような中、令和6年度方針「総力挙げて時代の変化に挑む」を掲げ、社員の方々が「一丸となつて安全第一に業務を遂行できたこと、また、特約店・スクラップディーラー・協力企業・拓伸会をはじめ多くの関係各位のおかげをもちまして無事新年を迎えられることに感謝申し上げます。拓伸会では「沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業」「沖縄県所得

新年あいさつ

機能的な新社屋が7月完成

拓南商事株式会社

代表取締役社長 川上哲史



新年明けましておめでとうございます。旧年中はご愛顧賜り深く感謝申し上げます。皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

弊社は昨年、冷蔵庫リサイクルラインを更新して作業者の負担作業を見直しました。安全衛生対策として、かがむ作業を無くして回収作業ができるラインのステージ化、冷蔵庫の反転時にエリアセンサーにて人の侵入を感知する仕組みを導入し、60台/日から180台/日に処理する体制を実現しました。

新年あいさつ

着実に利益を積み重ねていく

拓南製作所株式会社

代表取締役社長 本部紹吉



あけましておめでとうござい

昨年国内経済は、最高値を更新した株価や、半導体・自動車な

どの製造業、インバウンド需要回復による観光業や宿泊業が好調、

縮・コスト低減につながる商品の安定供給で建築業界に貢献し、県経済発展の一翼を担って社会に必要とされ続けられる企業になれるよう、やりがいを実感し、誇りと使命感を持ち、社員一丸となつて取り組んでいく所存であります。お客様・協力企業・拓伸会の皆様には、本年もより一層のご指導ご協力をお願い致します。

新年あいさつ

100年ゴルフフレンジ目指して

株式会社西原グリーンセンター

事務取締役 外間一成



新年あけましておめでとうござい

昨年は、さまざまな分野で拓伸会の皆様にお世話になり、感謝申し上げます。

さて、2024年も海外では各地で紛争が絶えず、世界規模で脅威が拡大しています。日本国内においてもその影響を受け、さまざまな分野で経済活動や一般家庭の生活に支障が出ており、不安を募らせています。

そのような社会情勢の中でも、西原グリーンセンターはゴルフ練習場として開場50周年を迎え、8月に50周年記念式典および記念イベントを行うことができました。

式典における古波津社長あいさつで、あと50年営業を継続し100年ゴルフフレンジを目指す」と

の言葉があり、それを受けて、私も役員は改めてお客様に選ばれるゴルフ練習場を目標に努力を重ねていく所存であります。また、10月より、経営改善に向けてゴルフ練習場の利用料金の改定を行い、売上の改善に努めているところであります。

内整備の顧客満足度向上を目指します。西原センターサービスステーションでは、価格競争の激しい中でも選ばれるサービスステーションとして、よりよいサービスが提供できるかを検討していきたいと思っています。

また、ESG経営を基軸に、環境面では廃棄物の削減とCO2削減への取り組みも模索してまいります。社会に対しては持続可能な貢献価値として健康と安全を提供できる企業を目指し、社内においては健康経営優良法人2025の認定を継続的に取得していきたいと考えています。

では不可欠です。そして、熟練技能者から次の世代への継続的な伝承により持続可能な会社の未来が見えてきます。

定期的に行っている事業継続計画(BCP)を早急に取組みとめて防災対策および訓練に取り組みます。安全衛生活動ではこの数年、指差し呼称やツールボックスミーティング活動の啓発に取り組んできましたが、いまだ定着しておらず、さらなる浸透に努めます。昨年の5月に533日で途切れたゼロ災害も、あらためて目標の1000日に向け活動に注力していきます。

作業環境の改善については、昨年も1年を通して安定した受注がありましたが、慢性的な人手不足や長時間労働が常態化したことは否めません。そのことを解決していくためにもロボット導入による自動化やDXの活用な

本年も、お取引先の皆様や拓伸会各社の益々の発展と健康で幸多い年であることを祈念して、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年あけまつ

声掛け運動で「すぐ実行する」

拓伸商事株式会社(大阪)

代表取締役社長 大城秀政



新年あけましておめでとうございます。旧年中は拓伸会各様に大変お世話になり、感謝申し上げます。

ロシアのウクライナ侵攻が3年目に入り長期化し、中国の経済衰退と台湾有事の懸念も重なって新冷戦の時代が始まった観があります。加えて、中東でのイスラム組織ハマスによるイスラエル侵攻から、イスラエルとイランの報復の応酬にまで発展し、混沌とした状況下にあります。そんな状況が物価上昇によるインフレを世界規模で起こしており、歯止めがかからない状況下です。また、アメリカ大統領もトランプ氏が選出され、保護主義化による関税引き上げや輸入制限による貿易摩擦で各種資材の高騰により、さらなる物価上昇等、課題は多々あり、厳しい経済環境が続きます。

しかし、拓伸会各社の事業運営を停滞させることなく、正確に情報をとらえ、迅速に行動すること

が最も重要で、

昨年度から始まった物流・運送業界の労働時間の制限により、物流の停滞が考えられましたが、若干の物流コストの上昇だけで大きな混乱はありませんでした。

一昨年来、健康経営宣言による活動の継続で、健康維持に向けての行動が一層意識されるようになったと思います。引き続き効果を確信し、今年は、特に心の健康を意識した活動を具体的に展開し、わくわくできる楽しい職場環境を意図して展開していきます。

そして、弊社の限られた資本の中で最大限の工夫を凝らし、効率的に競争力のある営業展開するためにも、経験や知見を皆でさらに積み上げていきたいと思っています。また、昨年から進めております社員のコミュニケーション能力・交渉力・提案力向上を図るための施策として「考える」(動機付け)から始め「調べてみよう」等の自発的学習行為に発展し、さらなる効果を上げるためにも社外の見聞を広

める機会を増やしたいと思っています。ひいては社員一人一人の成長とやりがいの向上のために、経営者と社員、社員同士で自由闊達なコミュニケーションでできる社風・環境づくりを進めていきます。

今年度は、計画を先延ばしせず「すぐ実行する」を実践できるように声掛け運動を展開し、これからも、パートナーシップ宣言通りステークホルダーとのスムーズなコミュニケーションを取り、引き続きレスポンスの強化を図ります。

結びに、ESG経営を基軸に、沖縄やその周辺の社会基盤を支える役割を側面から微力ながら担い続け、拓伸会グループの循環型社会実現に向けた事業活動が継続して活躍できるよう、誇りと志を持ち、今後も高品質の商品やサービスを迅速に提供し、地域社会経済に貢献し続けていきます。新年が、拓伸会各位の皆様や家族の方々にとってより良い1年になりますことを祈念いたします。

情報共有し、強力に販路開拓

新年あけまつ

拓伸商事株式会社(福岡)

代表取締役社長 大城秀政

新年あけましておめでとうございます。

海外では、ロシア・ウクライナ問題や中東問題が長期化しており、経済の停滞や各種資源・エネ

ルギーの高騰を招いています。また、円安による物価高騰のあおりから住宅建設や民間プロジェクトに対し慎重になっております。しかし、前年度後半からは、沖縄県内の官

公案件や大型民間工事も少しずつ動き出しています。

今年は、新規取引先の開拓、特に沖縄県内では、取りこぼし案件がないようTコンをはじめネジテ

ツコン、ATエポキシバー、シルバー鉄筋全般の付加価値商品と人手不足に対応する特性を生かしたユニット鉄筋や多くの商品の提案などを拓南製作所と情報共有し、強力で販路開拓します。また、九州地区での拡販は薩南物産と情報共有し、先に挙げ

た商品群の販売強化と新規開拓を進めていきます。ESG経営を基軸に、パートナーシップ構築宣言通り、全てのステークホルダーと良好な関係で成長していけるよう努めていきます。また、内部管理では、システムのスムーズな運用ができるよう努力

するとともに、ミルシートの即時発行について拓南製鐵福岡営業所との連携をさらに強め、拡販とサービスに努めていきます。新年が、拓伸会各位や取引先の皆様や家族の方々にとってより良い1年になりますことを祈念いたします。

相互理解深めて情報共有を

株式会社薩南物産

代表取締役副社長 日高 勝



あけましておめでとうございます。

昨年は、老朽化したギロチン設備の更新工事に伴い、狭いヤードでの操業となりましたが、大きな事故もなく安全な作業遂行に感謝いたします。工事を完了ししばらく続きますが、安全を最優先に進めます。

鉄屑購買では、仕入れソースを強くすると同時に、鉄屑・非鉄の徹底した分別による品質強化、営業担当2人による新規開拓と既存先への訪問頻度増加で、さらなる信頼関係を築き、月2500トンの数量確保に努めます。

安全衛生面では、10月開催の安全大会の中災防演習でやつてはいけないうる不安状態と不安全行動「ヒヤリハット」の重要性を再認識させられました。昨年は不慮災害の発生はありませんが、社員への安全教育と安心して仕事ができる環境作りに継続して取り組んでいきます。安全パトロールの発見と早職場や作業に潜む危険の発見と早期解決でゼロ災害の確立に取り組み、健康経営についても改めて全社員

目指します。月1000トンの拡販大に取り組み、

安全衛生面では、10月開催の安全大会の中災防演習でやつてはいけないうる不安状態と不安全行動「ヒヤリハット」の重要性を再認識させられました。昨年は不慮災害の発生はありませんが、社員への安全教育と安心して仕事ができる環境作りに継続して取り組んでいきます。安全パトロールの発見と早職場や作業に潜む危険の発見と早期解決でゼロ災害の確立に取り組み、健康経営についても改めて全社員

目指します。月1000トンの拡販大に取り組み、



晴天下、鉄業の発展を祈願

「鉄の記念日」祭事式 拓伸会

12月

現役役職員と5年ぶりに歓談

令和6年 拓南友の会

11月



古波津会長による焚き上げ

「鉄の記念日」祭事式が12月2日、晴天下の拓南製鐵本社中部事業所・伏見稲荷神社で行われた。会員企業、協力企業、拓南友の会から約120人が参加し、鉄業の発展、拓伸会の繁栄、全社員の健康と安全、家内安全を祈願した。

祭事式は、古波津会長が伏見稲荷神社で拝礼し、続いて、拓伸会幹部ならびに各社代表が玉串を奉奠した。創業

者である古波津清昇・桂子夫妻の御霊もまつる産業之宮にもそれぞれ拝礼した。

その後、古波津会長があいさつに立った。

古波津会長は「鉄の記念日」「ふいご祭り」の祭祀について解説した上で、「鉄鋼業界は、需要を反映し、高炉を電気炉に換えていく大きな動きがある。また、2050年までに脱炭素を目指す方針も明らかにしている。拓伸



伏見稲荷神社で拝礼

会としても、脱炭素に向けて、新年に、2030年までに確実に達成する目標を公表し、SDGs宣言を行う所存だ」と述べた。

さらに「域内経済循環のためには、私たち製造業こそがしっかりと足を着け、地味ながらも活動を続けていくことが肝要だ。私たちが会社の収益を上げ、社員の待遇を良くし、それを積み上げていくことは、会社の安定ばかりではなく、沖縄県の経済を良くしていくことになる。それをぜひご理解いただき、日々の製造、販売、そして安全衛生活動に従事してほしい」と呼び掛けた。

「焚き上げ」では、一同が見守るなか、拓伸会関係者の人形(ひとがた)に古波津会長が火入れをし、安全と健康を祈願した。

司会進行は、拓南本社総合企画部企画管理課の瑞慶山尚子課長代理が務めた。



会長あいさつ

拓南友の会(石川逢重会長の総会と懇親会が11月27日、パシフィックホテル沖縄「カネオハ」で開かれた。

総会の後に開かれた懇親会は令和元年以来5年ぶり、会員(OB・OG)21人、拓伸会各社の現役役員30人、スタッフ11人の計62人が出席し、久しぶりの交流を楽しんだ。

社歌斉唱のあと、友の会の石川会長がステージに上がり、あいさつをした。

石川会長は「私は、40年ほど拓南とお付き合いがある。



黒島氏の音頭で「乾杯」

思い出せば、緊張と苦労ばかりの日々だった。しかし、そのおかげで、良き先輩方と後輩たちめぐり会えたのだ。そして、退職後、拓南友の会を通じて充実した老後を過ごせている。そうしているうちに、あの緊張と苦労の日々が、楽しい思い出としてよみがえってくるようになった」と述べた上で、会場の現役役員を激励した。

続いて、拓伸会の古波津会長が発壇した。

古波津会長はまず、拓伸会を取り巻く現状を紹介。全国的に電炉メーカーが激しい状況にあること、円安にもかかわらず安価な製品が中国から入ってきていること、トランプ新政権による関税政策など不安定要素があることを報告した。その上で、サードエコノミー(島嶼県の製造業が抱える課題や不利性を克服する域内循環経済)、拓南本社に新設した技術開発室(世界でオンラインの技術・商品を開発)など、将来に向けた拓伸会の取り組みについて言及した。

そして「30代、40代の世代が育ってきている。100周年を見据え、先輩たちが培ってきたものを次の世代へしっかりとつないでいきたい。先輩方には、応援団として見守っていただきたい」とOB・OGに呼び掛けた。

すると、石川会長が再びステージに上がり、「拓南友の会は、拓南グループの営業マンでもある」と現役役員にエールを送った。

拓伸会元名誉会長の黒島善茂氏が乾杯の音頭をとった。黒島氏はあいさつのなかで、現役役員に対し、次のように激励した。

『琉球新報』で先日、拓南製鐵を取り上げていた。その連載には、品質管理関係の資格(JIS品質管理責任者)を保有している社員が約40人、グループ全体では約60人もいる、とあった。このような、



古波津会長



友の会の石川会長

「会社はあまりないと思う。社をあげて品質管理をきちんとやっていこうという姿勢に『拓鐵興琉』の精神が息づいている。会長がさきほどおっしゃったように、鉄鋼業界、とりわけ電炉メーカーは現在、厳しい状況にある。しかし、それを乗り越えられるかどうかは、独自の技術を持っているかどうかだ。1972年頃の苦境も、われわれは乗り切った。われわれは技術の拓南だ。どんな状況がやってこようと、必ずや乗り



(上)儀間氏、ゲストの金城法恵氏(右)
(下)OGと現役社員で「かぎやて風」

越えられる。現役の役職員の皆さんを心強く思っている」懇親会はその後、「かぎやて風」(末吉芳枝さん、島袋緑さん、瑞慶山尚子さん、神山エリさん、平田星来さん)、創業者作詞の「賀寿舞哉」斉唱をはじめ5曲(後間儀雄さん、ゲストの金城法恵さん)などの余興が行われ、大いに盛り上がった。

中締めのあいさつは、友の会監事の高崎善裕氏が行った。

総会の司会は拓南本社の比嘉秀親常務、懇親会の司会は又吉史也氏がそれぞれ務めた。



監事の高崎氏



「拓南製鐵」の企業力を探る

『琉球新報』で連載

11



「琉球新報」11月22日付(左)、11月15日付(右)



『琉球新報』は連載「沖縄企業力を探る」で拓南製鐵を2回(11月15日付、22日付)にわたり紹介した。

15日付記事の見出しは「沖縄で鉄を造る」。

「これだけ多機能、多品種な

縄で鉄を造る」「材料地産地消でコスト減」。

本文ではまず、事業の特徴について「スクラップ部門を担う拓南商事から原料供給を受け、鉄筋に変える一体型の手法は、国内の製鉄会社でも唯一の事業モデルだ」と説明し、実績について「近年はグループ事業の相乗効果を高め、グループの売上高は2000年代始めの約200億円から、現在は約430億円に伸びた」と紹介した。

商品開発については「地産地消を実現するためのニーズに対応にこだわる」姿勢を紹介し、製造する鉄筋が約120種に上り、「これは国内製鉄会社の平均品数の約3倍に相当する」と説明した。

そして、古波津昇会長のコメントを次のように添えた。

「これだけ多機能、多品種な

鉄筋をつくる会社は全国でも唯一。離島を抱える沖縄の中で、必要な製品をタイムリーに届けられる。理論的には全ての鉄筋を地産地消できる」

一方、22日付記事の見出しは「規格と個性二兎を追う」「本土復帰、本土企業に対抗」。

本文では、本土復帰後の取り組みについて「本土企業の営業攻勢にも対抗するため、日本の製品規格に適合しつつ、沖縄のニーズに対応する個性の発揮という二兎を追う」戦略を展開してきた」と振り返った。

その上で、受け継がれている品質管理精神について「現在、拓南製鐵の社員約40人、拓伸会全体では約60人がJIS品質管理責任者の資格を保有する。これは県内JIS管理者の4分の1を占めると紹介した。

さらに、建設業の人手不足など時代のニーズに対応する「ネジテツコン」「T・コンフープ」などの商品開発、5年計画の大規模な設備更新、レアメタルの取り出しなど新分野への挑戦などについて言及した。

15日付記事では「見据えるのは、県内唯一の製鉄企業として、島嶼島の製造業が抱える課題や不利性を克服するサーキュラーエコノミー(域内循環経済)だ」、22日付記事では「戦後復興期に産産を上げ、沖縄のインフラ整備を支えたグループは創業70年を超えた」とそれぞれ結んでいる。

Safework TAKUNAN 全国産業安全衛生大会 広島



(左から) 知念直成氏、長澤孝之氏、田邊雄二氏、山内雅文氏、古波津昇会長、長濱直次氏、亀浜和輝氏、與那嶺吏矩氏、八木佳菜子氏
※長嶺巧氏は所用のため撮影に参加できませんでした。

11

拓伸会が目指す目標のヒントに

拓南本社執行役員安全統括室長 長濱直次

「変わる時代にならぬ誓い安全・健康・平和な未来」をテーマに第83回(令和6年度)全国産業安全衛生大会が11月、広島市で開催された。拓伸会から、古波津昇会長をはじめ各社の安全衛生委員会の委員長、委員の計10人が参加した。沖縄県労働基準協会主催ツアーに参加した会長以下一行は同月12日、まず福山市にある北川製作所福山工場を訪れ、翌13日、呉市内の視察、大会総合集会所の広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)での開会式に臨んだ。14、15日は、専門的な研究事例発表の分科会などに参加した。

そこで、各社参加者に感想を寄稿してもらった。

古波津昇会長が日頃からお話されている「安全第一、健康経営、100年継続の企業を目指す」の3つのキーワードを胸に今回の全国産業安全衛生大会に臨んだ。

広島市で大会が開催されるのは10年ぶり、開催ひと月前の10月にノーベル平和賞の受賞発表の影響のためか、世界中から多くの人が広島を訪れ、原爆ドームの前で平和への祈りを捧げている姿は印象的であった。

初日は、北川鉄工所福山工場の見学を行った。北川鉄工所は、1918年創業で106年も続く「ものづくり」製造業である。資本金は86億円余、企業全体の労働者数は1447人、国内に8工場、営業拠点は沖縄も含めて12カ所ある。

見学した福山工場は、鋳物素材をベースとした自動車部品を製造しており、拓南製鐵と同様に電炉による作業もあって、工場規模は違うものの参考になる事項が多かった。

併せて、大会2日目の「ゼロ災害運動分科会」においては、同社の安全・環境推進部安全衛生管理課の菅原則昭課長

工夫を凝らし、「ゼロ災害」を目指して活動されているのがよく分かりました。中でも強く印象に残ったのが、「やらされ感」という言葉を多くの発表事業所で使っていたことです。改善のために各事業所は、さまざまな手法のヒヤリハット・TBM(ツールボックスミー

ティング)を積極的に実施し、「やらされ感」ではなく、積極的な当事者意識を持たせるように工夫していました。

動ける身体づくりの大切さ

拓南製鐵製造部主任 亀浜和輝

大会では、安全活動や健康づくりのテーマ発表を聞き、特に印象に残ったのが転倒による災害でした。歳をとるにつれ、少しの段差でもつまづくりリスクがある

大切な人材を守る決意新たに

薩南物産常務 田邊雄二

第83回全国産業安全衛生大会イン広島に今回初めて参加させていただきました。全体で約9000人の参加者という規模の大きさを

見ても、一人一人が安全意識を高めて、安心して働ける職場づくりに取り組んでまいります。

有意義な事例を今後の参考に

拓南商事専務 長嶺 巧

安全衛生大会に参加して、「自発的に学ぶ」を基本とした教育内容、プログラムを作成しての教育活動で、「教育十理解テスト」をセットとして再試験を行うことにより

「やらされ感」克服の工夫

西原グリーンセンター支配人 山内雅文

私は大会の中では、「安全衛生教育分科会・ゼロ災害運動分科会」を中心に受講しました。事業形態の違うさまざまな事業所の発表から、各社が

化、データベースの分析結果を基にした危険の芽を摘む対応、事故・災害の再発防止の取り組みについての事例

真似できる点、多かった

拓南本社安全統括室主任 長澤孝之

全国産業安全衛生大会に併せて、北川鉄工所福山工場の工場見学の機会をいただいた。

製造工程のほとんどをロボットによる製造がされていた点は目を奪われるものがあった。工場内の要素には手順書、標準書、注意事項等が掲示されており、常時確認できるよう配慮されており、施設管理、作業管理の面で勉強になる取り組みが多く、今後の拓伸会の安全対策においても真似できる点、参考に

を聞くことができました。これらの活動内容を参考にし、今後の安全衛生生活の取り組みにいきます。

印象に残った体重管理の工夫

拓南製作所業務課課長 知念直成

全国産業安全衛生大会は、日本国内の産業安全と健康管理に関する最新の知見を共有し、各業界の安全文化の向上を目的とした大会です。今年も多く企業、専門家、

行政関係者が参加し、約200の企業取組発表が行われました。

私は、主にメンタルヘルス・健康づくり・健康経営分科会へ参加しました。特に印

象に残ったプログラムを挙げますと、名鉄バスの体重入力フォームを用いた体重管理の取り組みです。バスの乗務員は不規則勤務や活動量が少ないこともあり、肥満者が多い傾向にあるそうです。肥満対策として体重測定回数を減らすこと、日々の業務を見直すきっかけが得られました。



国際会議場(分科会会場)

先取りの安全活動に感心

拓南商事安全衛生委員会 與那嶺吏矩

全国産業安全衛生大会では、全国の企業が行っている安全衛生についての取り組みを聞くことができました。

印象に残ったのはヒヤリハット分析です。自社でも力を入れていたヒヤリハット抽出の次の段階で分析まで行っており、先取りの安全活動が行なわれていました。ヒヤリハットの段階で対策とることにより、労災が発生するリスクが軽減されるため、

学んだことを社内でも共有

拓南製鐵環境室主任 八木佳菜子

他企業の取り組みから学ぶことはとても多く、参考に

なることばかりでした。健康経営分科会では、い

な改善が見られず、そこで、体重減量キャンペーンと題し、グループ対抗してなるべく多くの社員が参加できるように、社内掲示板によるリアルタイムの順位発表、景品など、社員のやる気につながる取り組みを加えたところ、成果が上がったそうです。とても参考になりました。別会場では、最新の安全管理機器や労働環境改善に役立つツールが展示されていました。特に、(ウェアラブルデバイス)を装着して作業現場を再現し安全意識の向上のデモンストレーションには多くの注目が集まっていた。他社の取り組みや最新技術に触れることで、日々の業務を見直すきっかけが得られました。

現場スタッフKYT教育実施

拓南商事

「KYTトレーナになるために」と題する安全衛生教育が11月8日、拓南商事で行われた。KYTとは、危険のK、予知のY、訓練(トレーニング)のTをとった危険予知訓練の略称。この訓練は、作業や職場にひそむ危険性や有害性等の危険要因を発見し解決する能力を高める手法とされている。そこで、同社の與那嶺吏矩氏に受講した感想を寄稿してもらった。

本格的にKYTを学んだ

拓南商事安全衛生委員会 與那嶺吏矩

11月8日に拓南商事において、拓南本社安全統括室による「KYTトレーナになるために」と題する安全衛生教育が実施されました。

拓南商事では、本格的にKYTトレーニングを受けている人が少ないこと、また受けたい人でもその後時間がたてが経っていることから、労働災害防止強化を進めるために実施しました。長濱直次室長が講師を務め、現場作業指示スタッフを中心に11人が90分の講義を受けました。



講義内容は、労働災害の定義、商事のヒヤリハット報告から4ラウンド法に照らした解説など。最後にゼロ災コーネルを実施しました。これまでになかなかKYTについて学ぶ機会が少なかったため、貴重な時間になりました。



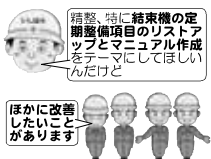
原爆ドーム

★最優秀賞 現場改善チームの部 製造部庄延班C班

第18回 拓南製鐵改善活動発表大会 / 令和6年2月20日開催・小紙3月号参照
『最優秀賞』ダイジェスト(下)

精整場の不具合の撲滅

1 テーマの選定



改善したいことは？

- 結束線起因のトラブルが多数ある
- 一部に不安全的な作業がある
- 製品搬送時のトラブルがいくつかある

精整場の不具合の撲滅

当初、職長から『精整、特に結束機の定期整備項目のリストアップとマニュアル作成をテーマにしてほしい』との提案がありましたが、ほかに改善したいことがあった為、協議の末、それを優先することになりました。大まかに分けて3項目ですが、それらを統合して『精整場の不具合の撲滅』としました。

2 問題点及び現状把握

問題点 ●結束線起因のトラブルが多数ある

①結束線入替に時間がかかる

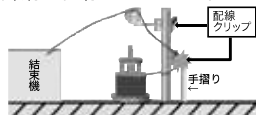


作業時間＝8分/回
6回/月
作業時間＝48分/月
生産停止時間＝9.6時間/年

【結束線起因の問題点①結束線入替に時間がかかる】

生産を一時停止してクレーンにて入替えを行なっているが、かなりの時間を要している。

②結束線が配線クリップに引っかかる



対処時間＝3分/回
4回/月
対処時間＝12分/月
生産停止時間＝2.4時間/年

【結束線起因の問題点②結束線が配線クリップに引っかかる】

一歩間違えると設備も壊しかねない。

③結束線がシリンダー等に引っかかる



対処時間＝30分/回
1回/月
対処時間＝30分/月
生産停止時間＝6時間/年

【結束線起因の問題点③結束線がシリンダー等に引っかかる】

1回の停止時間が長い上に電磁弁等も何度も破損・交換を行なっている。

問題点 ●一部に不安全的な作業がある



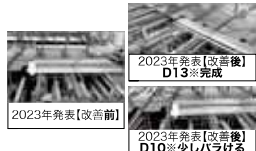
対処時間＝15分/回
2回/月
対処時間＝30分/月
生産停止時間＝6時間/年

【一部に不安全的な作業がある】

年間6時間停止もさることながら、ケガのリスクが大きい事が問題になっている。

問題点 ●製品搬送時のトラブルがいくつかある

①D10・D13の3.5m～4.5mが搬送時にバラける



対処時間＝0分/回
?回/月
対処時間＝0分/月
生産停止時間＝0時間/年

【製品搬送時の問題点①D10・D13の3.5m～4.5mが搬送中にバラける】

トラブルは無いがD10のみバラけが直らない。

②D32がコンベアに1本残る



対処時間＝15分/回
1回/月
対処時間＝15分/月
生産停止時間＝3時間/年

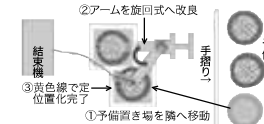
【製品搬送時の問題点②D32がコンベアに1本残る】

D32は一ヶ月で一日しか生産しないが毎回のように1本残りが発生している。

3 対策及び効果の確認

対策 ●結束線起因のトラブルが多数ある

①結束線入替に時間がかかる

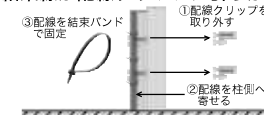


作業時間＝8分/回
6回/月
作業時間＝48分/月
生産停止時間＝9.6時間/年

【結束線入替に時間がかかる対策】

予備置き場を変更し、その場にアームがセットできるようにして定位置化を行い完了！その結果、生産ラインを停止しなくても入替えができるようになった。

②結束線が配線クリップに引っかかる



作業時間＝3分/回
4回/月
作業時間＝12分/月
生産停止時間＝2.4時間/年

【結束線が配線クリップに引っ掛かる対策】

配線クリップを取り外し、結束バンドで固定する事によって引っ掛かりが“ゼロ”になった。

③結束線がシリンダー等に引っかかる



対処時間＝30分/回
1回/月
対処時間＝30分/月
生産停止時間＝6時間/年

【結束線がシリンダー等に引っ掛かる対策】

単純にカバーを作成・設置する事で引っ掛かりを完全に無くす事に成功した。

対策 ●一部に不安全的な作業がある



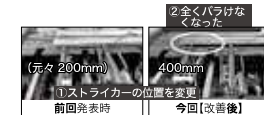
対処時間＝15分/回
2回/月
対処時間＝30分/月
生産停止時間＝6時間/年

【一部に不安全的な作業がある】

ステージを設置してシャフトを乗り越えなくても済むようになった。※今回はトラブルを無くす事が目的では無いため生産停止時間は変わらず6時間/年のままです。

対策 ●製品搬送時のトラブルがいくつかある

①D10・D13の3.5m～4.5mが搬送時にバラける



対処時間＝0分/回
?回/月
対処時間＝0分/月
生産停止時間＝0時間/年

【製品搬送時にバラける対策】

前回の改善で生産停止を伴うほどのバラケは改善しており、今回の改善でほぼバラけなくなり、トラブルのリスクをほぼ“ゼロ”にできた。

②D32がコンベアに1本残る



対処時間＝15分/回
1回/月
対処時間＝15分/月
生産停止時間＝3時間/年

【製品搬送時にD32が1本残る対策】

既存の製品ストッパーの背面に傾斜案内を設置する事で1本残りを完全に無くす事に成功！

効果の確認 ●コスト

人件費
21h/年×¥2,000×6人
＝¥252,000/年
LNG※天然ガス
21h/年×700m×¥71
＝¥1,043,700/年
低減合計約130万円/年

効果の確認 ●無形効果

- ・怪我のリスク低減
- ・作業効率のアップ
- ・精整設備の知識の向上
- ・意識改革につながった

4 まとめ

今回の活動も色々な事に挑戦する事ができて、とても有意義な活動になったと感じています。
精整場周りでは、まだまだ解決しなければいけない事が山積みされていますので、これからもチャレンジ精神を忘れずに突き進んでまいります。

拓南本社



(左から)翁長有希奈さん、宮野利江さん、比嘉洋輔さん、上原佑斗さん、上地一平さん、与那覇瑠利さん



拓伸会の年男・年女 巳年生まれば 71人

拓南本社 6人

2025(令和7)年は巳年。1月号恒例の「拓伸会の年男・年女」特集を今年もお届けします。拓伸会会員企業の役員のうち巳年生まれば計71人(昭和28年3人、40年15人・52年24人、平成元年12人、13年17人)です。ネット情報により、巳年といっても新年は、乙巳(きのとみ)にあたります。「乙」は蛇で「脱皮」は植物の成長する様子を表し、「巳」は蛇で「脱皮」を連想するとされます。また、巳(み・へび)は、神様の使いとして大切にされてきた生物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。そのため、乙巳の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になるそうですよ。

*役職名略。集合写真は言がそろっていないケースもあります。

拓南本社の巳年生まれば、宮野利江さん、上原佑斗さん、翁長有希奈さん、比嘉洋輔さん、上地一平さん、与那覇瑠利さんの計6人です。全員、コメントを準備してくれました。

宮野利江さんは…

「私もとうとう人生の折り返し地点にさしかかりました。へびのように古い皮を脱ぎ捨てて、成長できるように頑張ります。今年も『酔い』年になりますよーに」

上原佑斗さんは…

「明けましておめでとうございます。年男を迎え、2025年も、公私ともにより年になるよう精進いたします」

翁長有希奈さんは…

「拓南で2回目の年女を迎えました。入社当時の気持ちを忘れず、巳のように脱皮しながら大きく成長していきたいです」

比嘉洋輔さんは…

「あつという間に12年。これまでたくさんの方々に成長させていただき、今があるの振り返ります。また、干支回りのスタートにて、公私ともに起こるイベントを楽しみ、その中で出会う一人一人への感謝とそのときを思い、リスペクトを持ちながらさらなる成長ができたかなと思

います」

上地一平さんは…
「30代も半ばに入り、20代の頃より体力の衰えを痛感しております。最近、第三子も生まれ、今年は上の子が小学校に上がるので、せめて在学中はかけっこでも負けない、カッコいい父親でいられるよう精進していきたいです」

与那覇瑠利さんは…

「周りの方への感謝を忘れず、たくさんの方に挑戦する一年にしたいです」

拓南製鐵 18人

拓南製鐵の巳年生まれば、下記の18人です。

神谷信一さん、玉城浩さん、阿多利力さん、山内昌博さん、高江洲力さん、野村直輝さん、仲村将さん、新垣真也さん、宮城有さん、比嘉繁勝さん、城間雄太さん、宮里夏希さん、松本力さん、仲真魁人さん、宜野座大楓さん、成底正太さん、我謝佑太さん、比嘉汐音さん。

集合写真の撮影時に、代表して4人の方々にコメントしてもらいました。

城間雄太さん…

「新年は、健康第一。第二は家内安全。第三は『昨日より今日を楽しめ』です」

比嘉繁勝さんは…

「新年は、まず健康に気を付

(左から)宮里夏希さん、我謝佑太さん



(左から)山内昌博さん、阿多利力さん



拓南商事 24人

拓南商事の巳年生まれば、下記の24人です。

小渡悟さん、上原良盛さん、呉屋忠さん、大城信也さん、松坂忠夫さん、山内辰也さん、島袋達さん、比嘉智和さん、仲宗根教典さん、名嘉山正樹さん、下里智寛さん、神村敦さん、島袋卓治さん、

「元氣いっぱい頑張ります」

比嘉汐音さんは…

「入社して6年目になります。仕事を頑張りながら、プライベートも充実させたいです」

「仕事もプライベートも楽しく過ごしたいです。イライラしがちだったこの1年を反省し、落ち着いて頑張ります」

松本力さんは…

拓南製鐵



(後列左から)玉城浩さん、宜野座大楓さん、比嘉繁勝さん、城間雄太さん、新垣真也さん、野村直輝さん、神谷信一さん、宮城有さん
(前列左から)仲村将さん、松本力さん、高江洲力さん、仲真魁人さん、成底正太さん、比嘉汐音さん

拓南商事



(後列左から) 神村亮さん、幸地海成さん、山内辰也さん、山下航平さん、上原良盛さん、下里智寛さん
(中列左から) 島袋卓治さん、小波悟さん、比嘉智和さん、呉屋忍さん、名嘉山正樹さん、牧門李音さん、仲宗根教典さん、友寄太樹さん
(前列左から) 大城信也さん、渡邊稔さん、有銘七美さん、名嘉山心さん、平良桜羅さん、神村敦さん、宮城和幸さん

拓南製作所



(後列左から) 山野要さん、目差潤人さん、福里大河さん、桃原康介さん、知花洋希さん、山根隼人さん、宮城幸一郎さん、知念直成さん
(前列左から) 石川進治さん、稲嶺盛政さん、宮城淳さん、高良小百合さん、山城貴子さん、呉屋るり子さん、照屋玲子さん

西原グリーンセンター



(左から) 山内雅代さん、渡名喜史朗さん、大城優子さん

拓南製作所 15人
拓南製作所の已年生まれは、下記の15人です。

「アッという間に年男、という感じです。新年も、安全と健康を第一に頑張ります」
有銘七美さんは…
「年女なので、新年は良い年になるのではと期待しています。一生懸命頑張ります」
山下航平さんは…
「年男の実感がまだ湧きませんが、新年は、昨年以上に仕事でもプライベートでも頑張っていきたいです」

神村亮さん、友寄太樹さん、渡邊稔さん、垣花大介さん、幸地海成さん、平良桜羅さん、牧門李音さん、有銘七美さん、山下航平さん、宮城和幸さん、名嘉山心さん。
集合写真の撮影時に、代表して3人の方々にコメントしてもらいました。

拓南製作所 15人

拓南製作所の已年生まれは、下記の15人です。

拓伸商事(大阪)



山田みやびさん

西原グリーンセンター 3人

西原グリーンセンターの已年生まれは、山内雅代さん、大城優子さん、渡名喜史朗さんの計3人です。

3人とも、コメントを準備してくれました。

隆南物産



(左から) 大竹山輝明さん、重留秀幸さん、江上晃一郎さん、松元真理子さん

拓伸商事(大阪) 1人

拓伸商事(大阪)の已年生まれは、山田みやびさんです。

「入社して初めて、人生で2回目の年女を迎えました。周

《11頁より》

りの方々に支えられながら約1年間、楽しく仕事を続けられたことへ感謝の気持ちでいっぱいです。2025年は、さらなるスキルアップを目指し、健康で明るく笑顔いっぱい、楽しい1年を過ごせるように頑張ります」

拓伸商事(福岡) 0人

拓伸商事(福岡)の巳年生まれは、おりませんでした。

薩南物産 4人

薩南物産の巳年生まれは、江上兄一郎さん、重留秀幸さん、松元真理子さん、大竹山輝明さんの計4人です。全員、コメントを準備してくれました。

江上兄一郎さんは…

「還暦！大きな節目を迎えるにあたり、すべてに感謝いたします。長い時間で得たご縁や経験を生かし、皆さまとともにさらなる成長を目指し

てまいります」

重留秀幸さんは…

「まもなく入社して2年が経とうとしています。毎日仕事も忙しく、やりがいを持って頑張つて一日一日を過ごしております。新年も健康に気をつけ、安全第一で頑張つていきます」

松元真理子さんは…

「感謝の気持ちを忘れずに、自分の心と体を第一に日々精進していきたいと思いま

大竹山輝明さんは…

「以前より体力の回復に時間がかかるように感じているので、食生活や体調管理に気をつけ、無病息災に過ごしていけたらと思います」

拓伸会の巳年生まれ71人の皆さん、取材協力ありがとうございました。2025年の拓伸会を、年男年女の皆さんとともに「柔軟に発展していく」年にしていきましょう。新年もご安全に。

糸満ヤードで竣工式

拓伸製作所

た。

拓伸製作所は12月11日、糸満ヤードで工場の竣工式を行った。

普天間宮の新垣神職のもと、玉串奉奠を、拓伸製作所の古波津昇会長、本部紹吉社長、奥平勉副社長、ティ・エイチ・アール建築設計の田盛隆博氏、ならびに現場代理人の興儀馨氏(鐵構部鐵構課課長)が行った。また、四方祇の儀のお手伝いを勢理客耕司常務、富里真史常務が務めた。

直会式で、神酒拝戴の後、古波津会長が「糸満ヤードも歴史ある工場だ。加工業者に多く使用してもらった。これからも南部地域で飛躍していつてほしいと願う」とあいさつした。続いて、本部社長が乾杯の音頭をとり、安全に工事が進むよう皆で願い、杯を掲げた。閉会のあいさつは、奥平副社長が務めた。



記念品として贈呈したのと同じ琉球人形

酸素プラント導入記(8)

ミスター古波津によるしく

黒島 善茂

バス以外に手段はなく、ターミナルへ行くことにした。チケットを買う段になり、行き先を告げると係員は、「ここは路線バスのみだ。ハイウェイターミナルは、4ブロック行ったところだ」と、面倒くさそうな態度で言った。

またしても探し回らなければならぬのか。半分やけくそ、半分勘を頼りに

拓南余話 19

「OK。2時間ほどかかるから、眠たくなったら眠ていい。着いたら起すから」と言ってくれた。何と親切なドライバーだと感謝した。バスはハイウェイを60マイルでぶつ飛ばす。野原や建物の流れのように後ろへ去っていく。

しばらくぼんやりと景色を眺めていたが、ふと「なぜ創業者は、郵送すればよい

うな気がした。副所長にお会いし、琉球人形を手渡すと、「なんとすばらしい人形だ。ありがとう。ミスター古波津によるしく伝えてくれ」と言つて、自室のテーブルに飾った。帰路は、副所長が「シスコに用があるので送つてやる」と言つてくださったので、乗せていただくことにした。肩の荷が降り、気が緩んだのかいつのまにか眼りに落ちてしまつていた。

(拓伸会 元名誉会長)



謹賀新年

年男年女特集のリードで紹介しましたが、干支が乙巳(きのこ)にあたる新年は「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になるそうです。まるで大谷翔平選手の昨シーズンを表現しているような、ブレない打撃フォーム(拓伸興業)、入念な準備(備えに勝る対策なし)、私たちが頑張ります。鈴木